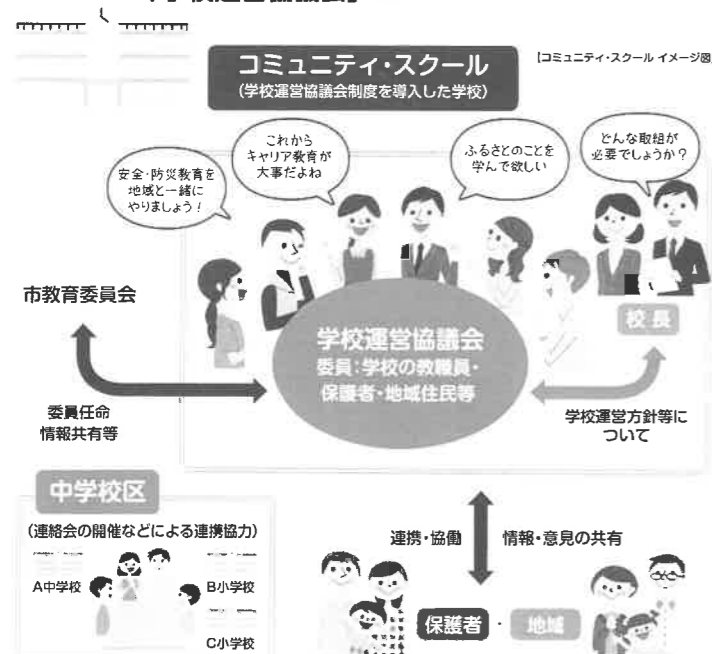


コミュニティ・スクール導入始動

～学校・地域・保護者が連携 『地域の子は地域全体で育てる』～

コミュニティ・スクールって？

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者、地域住民等で構成された「学校運営協議会」を導入した学校のことです。



参考資料 コミュニティ・スクールがスタートします！(今治市教育委員会)

本年度より、今治市でもコミュニティ・スクールが、常盤小学校、波止浜小学校、玉川中学校の三校で始動しました。そこで、三校にコミュニティ・スクールに関して、いろいろと聞いてみました。

三校ともに、地域とのつながりが深まったと回答していただいております。

学校にとっても、いろいろな対応策や解決策などの知恵をいただけたら、地域にとっても、行事に多くの子どもたちが参加してくれ

たりするようになり、「活性化につながった。」と感じているようです。地域・保護者との連携の大切さが伝わる内容でした。

「地域の子は、地域全体で育てる」常盤小学校さんのことばです。次のページで、常盤小学校のコミュニティ・スクールの今年度の活動内容を紹介します。来年度より、また今後コミュニティ・スクールの導入していく学校の参考になれば、幸いです。(桜井中 竹田)

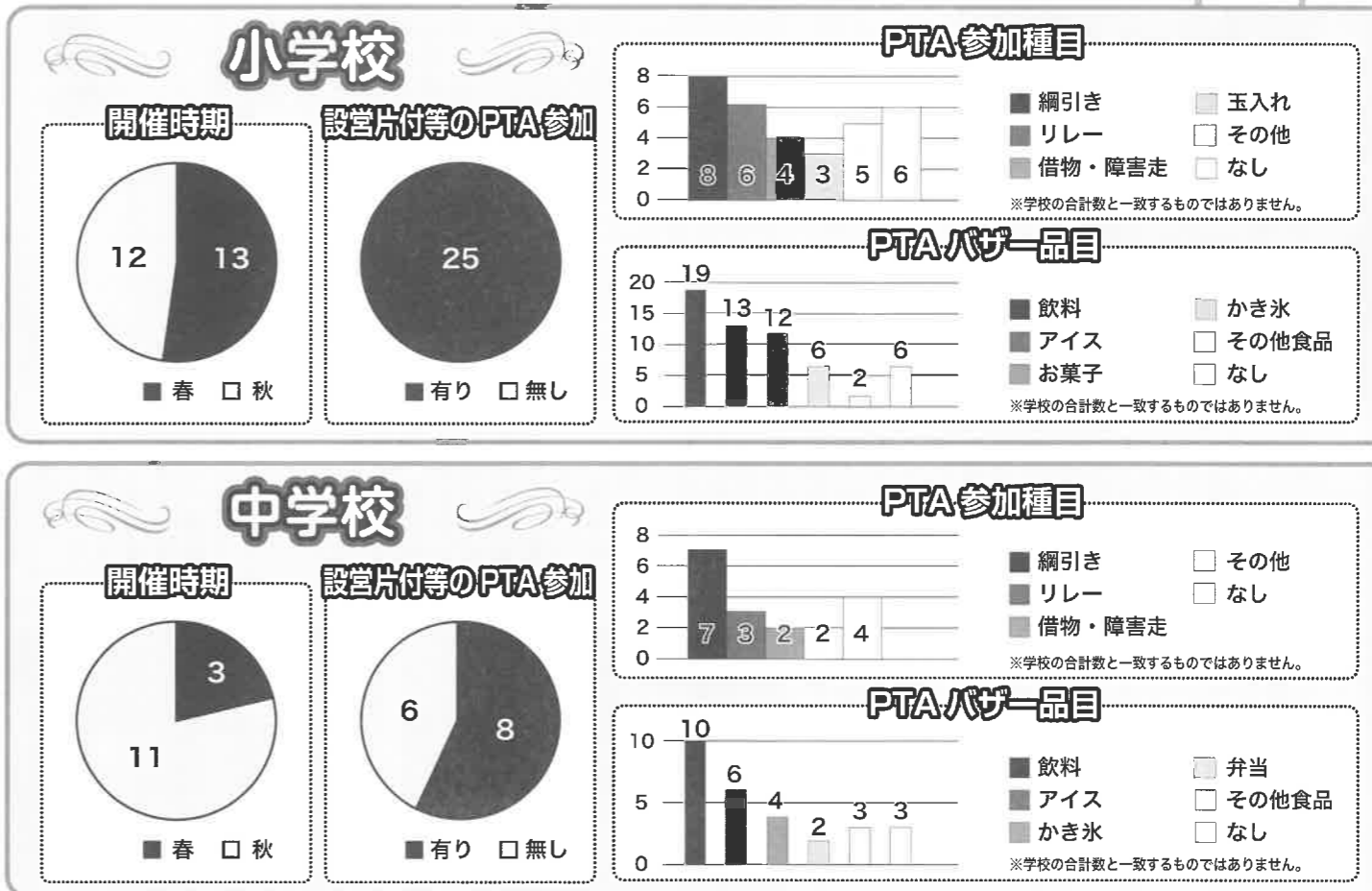
輝くひとみ

第28号

令和2年3月15日発行
今治市PTA連合会
ホームページアドレス
<http://www.imabaricity-pta.jp>

令和初の運動会 ～各校の取り組み～

令和初の運動会が各学校春季、秋季と行われました。PTAとしても多数の参加協力があったと思われます。皆さん大変お疲れ様でした。それぞれの学校、主にPTA活動について聞き取り集計を行いましたので、ご参考ください。(伯方中 織田)

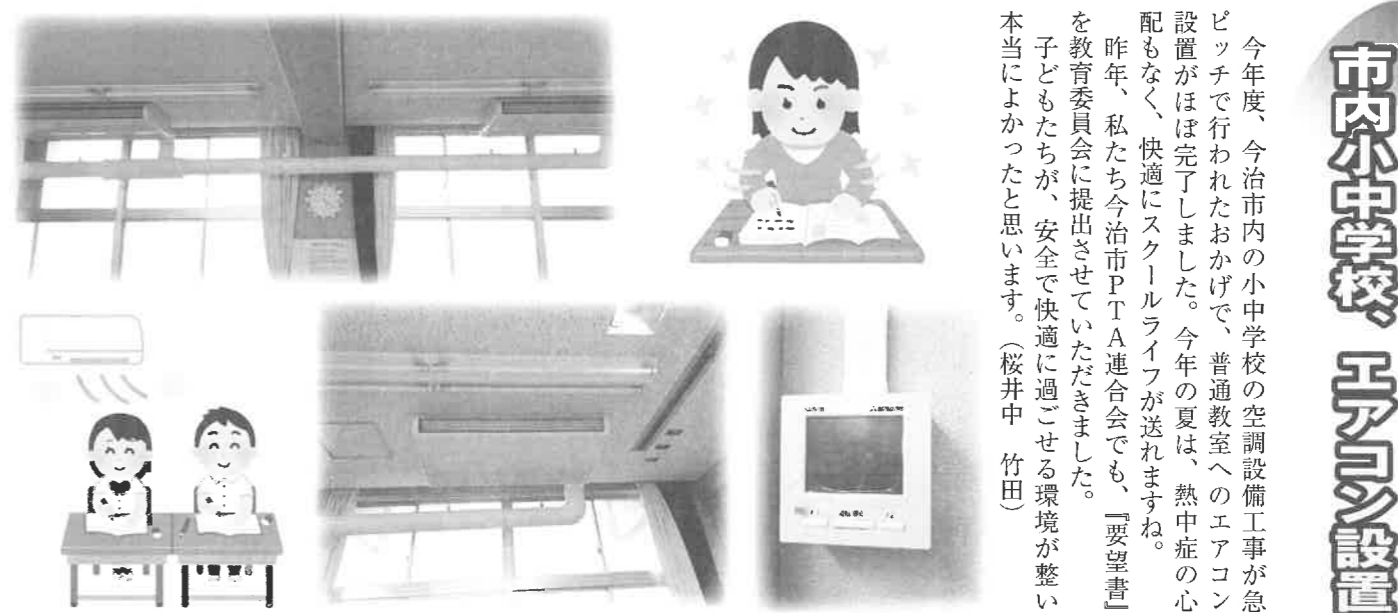


各学校のPTAならびに教職員の皆様アンケートにご協力ありがとうございました。

Q&A コミュニティ・スクールってどんなの？

～既にコミュニティ・スクールが導入された3校に聞いてみました～

- Q 従来の学校評議員会との違いを教えてください。また、実際大きく変わった、と感じることがあれば教えてください。
- A 学校評議員会では、学校の教育活動について成果と課題を説明した後、指導・助言をいただくという形をとっていた。学校運営協議会では、学校の課題や困りごとについて一緒に考え、対応策・解決策を提案していただくようになった。地域住民の方々の学校への関心が、昨年よりも高まった。学校の教育活動を知っていただく機会が増え、地域の方により協力を得やすくなった。
- Q 貴校の学校運営協議会委員は、どのような方で、何名で構成されていますか？
- A 常盤小学校 15名、波止浜小学校 14名、玉川中学校 10名。学校(校長・教頭・教務主任)保護者(PTA会長・役員など)地域の方(公民館長・自治会長・婦人会・学識経験者・PTA会長OB・NPO法人理事長・主任児童委員など)
- Q 学校運営協議会は、今までに何回開催されましたか？
- A 4~5回
- Q 学校運営協議会では、どのようなことが話し合われましたか？
- A 学校の経営方針・活動報告・学校評価・PTA行事について / 地域との連携活動・行事の計画の調整 / 働き方改革・業務改善について / 児童の安全確保・生徒指導についての情報交換
- Q コミュニティ・スクールを導入にして、よかったと思うことを教えてください。
- A ・学校だけでは解決できない課題が多い中、より良い解決方法を地域・保護者・学校がそれぞれの立場で、一体となって考える事により、地域内相互のつながりが生まれ、「地域の子は、地域全体で育てる」という意識が少しずつではあるが浸透し始めたように思う。(常盤小学校)
- ・地域の協力が得やすくなった。学校・保護者・地域の方が一堂に会する機会ができ、つながりを深化させるきっかけとなりお互いの距離が近くなった。児童の参加が増えたことで、地域行事の活性化につながった。(波止浜小学校)
- ・学校の課題、困りごとを各種団体の代表者と共有し、対応策を提案していただいたこと、学校として様々なことを頼みやすくなった(玉川中学校)



市内中学校、エアコン設置

今年度、今治市内の小中学校の空調設備工事が急ピッチで行われたおかげで、普通教室へのエアコン設置がほぼ完了しました。今年の夏は、熱中症の心配もなく、快適にスクールライフが送れますね。

昨年、私たち今治市PTA連合会でも、「要望書」を教育委員会に提出させていただきました。

子どもたちが、安全で快適に過ごせる環境が整い本当によかったと思います。(桜井中 竹田)

編集後記

みなさまのご協力のもと「輝くひとみ28号」を無事発行できましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。今年度は、普通教室へのエアコン設置やコミュニティ・スクールの始動など、各学校にも新しい風が吹きました。我が市P連もフェイスブックの立ち上げやホームページの充実など、新風を起すことができました。特にフェイスブックにおきましては、たくさんの方にご覧いただき、また、「いいね」もいただき、誠にありがとうございました。これからも、リアルタイムでの情報提供に心がけ、みなさまにお届けできるようがんばってまいります。今後も、何卒よろしくお願いたします。

ホームページ <http://imabaricity-pta.jp/>

PTA活動紹介



十六時に集合後、家庭科室にて子どもたち中心にカレー作りです。五年生の自然の家での経験もあるので、手際よくできる班がほとんどです。

立花小学校PTAでは今年で四回目になる、六年生対象の「学校に泊まろう」を行っています。
なぜこの企画が始まったかというと、昔、私たちが小学生の時にはいろいろな行事がありました。今では大人の都合や予算がないからとほとんどなくなっています。この子たちが大人になったときに、どんな思い出話をするのかなと少しかわいそうに思いました。そこで、私たちPTAがする「学校に泊まろう」が、小学生たちの思い出の一つになってほしいという事で始めました。

今年度も夏休みの八月十七日(土)と十八日(日)の二日間で行いました。昼から六年生のPTA本部役員が買い出しをして、PTA会員有志もその後合流して始まります。参加者は六年生七十二名中四十六名(泊まり三十七名)の参加です。

片付け後、体育館にて、パラリンピックの正式種目でもあるボッチャというスポーツをしました。皆初めてでしたが、チームで協力して楽しんでました。

夜には校舎を使ってお化け屋敷を行いました。暗になると本当怖いです。お化け役は参加してくれた保護者の方々でしたが、皆さんとても楽しかったと言ってくれました。(子どもはかわいそうですが)翌日に課外活動や用事がある児童は帰宅。中には楽しくて、帰宅を急ぎよ泊まりに変える児童もいます。体育館で寝るといふ体験もなかなかできないし、コンコン話も深夜までする児童もいました。

これは準備、防犯、企画でお世話をしただいた役員の皆さんの力です。アンケートでは、「またしてほしい」や「楽しい思い出になった」等々、うれしい言葉を児童からも保護者からもいただきました。
立花小学校PTAは「Pばあ」と、T楽しく、A集まろう」親の笑顔で子どももニコニコ、はぐくむ笑顔は私から」のスローガンで活動しています。これからは「たばなっ子」のために、がんばれるPTAでありたいです。(立花小 近田)

朝は皆でラジオ体操。朝食はパンを食べ、体育館の掃除を全員で行い解散です。

朝は皆でラジオ体操。朝食はパンを食べ、体育館の掃除を全員で行い解散です。

朝は皆でラジオ体操。朝食はパンを食べ、体育館の掃除を全員で行い解散です。

朝は皆でラジオ体操。朝食はパンを食べ、体育館の掃除を全員で行い解散です。



令和元年十二月、伯方町内各地区にて、老人会の御協力により三代交流活動として「しめ飾りづくり」が行われました。例年、伯方地区の子どもと、保護者の有志が参加して行われています。子どもたちは慣れない手つきながらも老人会の方々に教わりながら一生懸命縄をなつてしめ飾りを作りました。お正月を迎える前に自宅に飾るしめ飾りを自作できる喜びを体験できました。

しめ飾りを作製したあとは参加した皆さんと茶会にて談話をし、交流を深めました。(伯方小 村上)

しめ飾りを作製したあとは参加した皆さんと茶会にて談話をし、交流を深めました。(伯方小 村上)

しめ飾りを作製したあとは参加した皆さんと茶会にて談話をし、交流を深めました。(伯方小 村上)

常盤小コミュニティ・スクール

子どもたちの笑顔のために 地域の子供を、地域で育てる！！

常盤小学校では、二〇一八年度よりコミュニティ・スクールに取り組むことになりました。
コミュニティ・スクールとは、学校・PTA・地域の方々が一つとなって、学校やそこに通う子どもたちを支える、「地域とともにある学校」です。特別なことをするのではなく、今までの活動をより充実させることが最大の目的だと考えています。



始めの一年は、準備期間として学校運営協議会の在り方や構成委員について検討するため、以前からの学校評議委員会を準備委員会とし、組織作りを始めました。
学校運営協議会会長として本校の状況や地域の事に精通している現公民館長を会長とすることで決定し、地域の実績を踏まえ、「PTA・地域連携支援部会」、「学校運営部会」、「教育活動支援部会」と三つの部会を柱とした学校運営協議会とすることをしました。また、学期ごとに行う学校運営協議会と年二回開催予定の連絡会を通じて、学校・PTA・地域の意見をより具体的に協議して活動にあたることとしています。
第一回学校運営協議会では、「これから常盤小学校について」をテーマに「常盤小のことも大切に願うこと」を三つの部会ごとに話し合い、その内容に対して意見を申し合いました。様々な視点からの発言がありとても活発な意見交換会となりました。

安全な地域と子どもたちの笑顔」でした。通学路の見直しから、道路・交通状況の再確認、旗当番、見守り隊など課題は山積みですが組織の構築と関係各者の力強い協力により一つずつ改善しているところです。
そんな中、川崎での悲惨な殺傷事件がありました。常盤地区でも早速子どもたちの安全を確保すべくコミュニティ・スクールが動き出しました。PTAでは松田会長の指揮のもと児童安全全部部長が各世帯へ依頼文を作成。負担にならない一歩進んだ見守り隊を提案しました。これは、強制ではなく各家庭でできることへの協力要請でした。(例…通勤時に少し早く家を出て子どもたちを見守る・洗濯のついでにベランダから子どもたちを見守るなど)いままです以上に学校・PTA・地域が即座に連携し活動を行い機能したことはコミュニティ・スクールのおかげだと思います。三学期が始まりましたが各家庭の一歩進んだ見守り隊は現在も続いているように思います。



この活動の成果がでてきているのか、通学路の交通状況・危険箇所等のアンケートには予想以上の意見が寄せられました。いただいた意見は学校・PTAで精査して学校運営協議会で話し合い、警察・市役所等に要望したり、地域や保護者に協力を呼び掛けたりするなどの改善方法を考えています。
また、参観日の案内を公民館を通じて地域住民に知らせたり、一年生の生活科「昔の遊び」など、学習における協力依頼をしたりして、学校と地域の距離を縮め、つながりを深めていく取り組みも合わせて行っています。
最後になりましたが、校長先生との話のなかでコミュニティ・スクールの制度ができることよって地域の方々や学校の応援団になっていただけることが一番ありがたいこと。この制度によって学校と地域とのつながりがより強くなり、地域・学校・PTAが協力し合い、お互いが良い方向に向かっていくことが子どもたち・常盤地区にとって理想の形だと笑顔で語っておられました。(常盤小 風本)

